

平成29年度シラバス

学番40 新潟県立栃尾高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3
科目の性質	必履修		学年(学級)	1学年	
使用教科書	最新高等保健体育 (大修館書店)		副教材等	最新高等保健体育ノート (大修館書店)	

1 学習目標

- ・運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
- ・体の調子に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正・協力・責任・参画などの態度を育てる。
- ・健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ・積極的に運動に取り組む姿勢を育てる。
- ・時間を守り、集合整列等の集団行動をきちんとできるようにする。
- ・けじめをつけさせる。
- ・準備や片づけが、積極的に行えるようにする。
- ・向上意欲をもたせる。

3 指導計画

月	学習内容	学習のねらい	時間	評価方法
4	オリエンテーション	・体育授業の流れを理解する。	1	行動観察
	体づくり運動	・体力を高める運動を行い、体力の向上を目指す。	8	記録測定
5	4領域選択①	・陸上競技、器械運動、ダンスの中から1つを選択する。 陸上…走種目 器運…2種目 ダンス…現在のなリズムのダンス	12	観点別評価 スキルテスト 参加態度
6	4領域選択②	・陸上競技、器械運動、ダンスの中から1つを選択する。 陸上…跳・投種目 器運…1種目 ダンス…現在のなリズムのダンス	12	(通年)
7	球技・武道選択①	・ソフトボール、サッカー、テニス、バレーボールの中から1つを選択する。	12	
	・ベースボール型			
	・ゴール型			
8	・ネット型			
	体育理論	・スポーツの歴史的発展と変容、スポーツの技術・戦術・ルールの変化について理解できるようにする。	3	
9				
	陸上競技	・完走の喜びを感じさせる。自分のペースを習得し持久力と自己の記録の向上を目指す。	12	
10	(長距離走)			
	球技・武道選択②	・バスケットボール、バレーボール、バドミントン、柔道の中か	12	

11	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型 ・ネット型 ・武道 球技・武道選択③	ら1つを選択する。 ※②、③のいずれかで、必ず柔道または剣道を選択する。	12	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型 ・ネット型 ・武道 体育理論	・バスケットボール、バレーボール、バドミントン、剣道の中から1つを選択する。 ※②、③のいずれかで、必ず柔道または剣道を選択する。	3	
1	体づくり運動	・オリンピックムーブメントとドーピング、スポーツの経済的効果とスポーツ産業について理解できるようにする。	2	
2	球技・武道選択④ <ul style="list-style-type: none"> ・ネット型 ・ゴール型 	・バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の中から1つを選択する。	16	
3		※球技の選択は①～④を通じて、ゴール型・ネット型・ベースボール型から2つを選択する。		

4 課題・提出物等

1. スキルテストや記録会 2. 個人カードやグループカードの提出 3. ルールに関するテスト

5 評価規準と評価方法

以下の観点から、授業態度、出席状況、参加状況等とスキルテストなどを踏まえ総合的に評価する。
 観 点 別 評 価

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じた自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行いを身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、生活における運動の意義、体ほぐし・体力の意義及び運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

6 担当者からの一言

小学校や中学校で学んできた基礎・基本の内容に加えて、実技はもちろんのこと、将来、生活等で様々な問題に直面したとき、自分自身で考え問題点を解決していく能力を身に付けさせることを考えています。また、一定の運動量を確保し、規則・時間を厳守する態度を大切に授業をすすめます。